

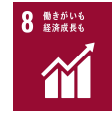
産業経済部長目標（令和7年度組織目標）

● 産業経済部長 小池 純一（こいけ じゅんいち）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 2 飢餓をゼロに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう



● 産業経済部の仕事

産業経済部は、産業振興課、商業観光課、農業振興課の3課で構成され、「所沢市産業振興ビジョン」に掲げる産業振興施策を推進することを目指し、農業・商工業・観光の振興及び雇用対策などを主な仕事にしています。

● 産業経済部の目標

ビジョンに掲げた「活力ある産業と豊かなくらしの融合で、まちの魅力を飛躍させる。ところざわ」を基本理念に、企業誘致や観光施策、商店街や事業者の支援に取り組むとともに、農業経営の充実や地産地消、環境にやさしい農業を進めます。
多くの賛同を頂いた「ふるさと応援寄附」、市制施行75周年に開催の「ところざわまつり大祭」、狭山茶を世界にPR「大阪・関西万博」等機会を通じて市の魅力を発信しブランド力を高めます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	ふるさと応援寄附の拡充	本事業は、市外からのふるさと応援寄附があった際に返礼品を設けることにより、産業振興を推進し全国に向けて市の魅力を発信するとともに、歳入の確保を図り、「ふるさと所沢」のまちづくりに資することを目的とするものです。	246品目の返礼品（5/1現在）に加え、市内教育機関や事業者等と連携し、新たに体験型の返礼品を10品目以上増やすことを通じて、1億円以上の歳入確保を目指します。	所沢シティマラソン参加権や武蔵野MUSIC JAM2026チケットなど、体験型として新たに12件の返礼品を開発しました。 寄付額としては、当初目標を上回る約1億8千600万円の実績となりました。
2	企業誘致活動の推進	本事業は、本市の立地環境を活かし、都市型産業等の立地・拡大及び育成を推進し、市内経済の活性化、雇用の創出、税収の増加を図るものです。また、現在整備が進んでいる三ヶ島工業団地の進捗を支援するものです。	企業立地等奨励金を1者以上、都市型産業等育成補助金を5者、新たに交付する事業者を認定します。また、三ヶ島工業団地に新たな協同組合が組織できるよう支援します。	企業立地等奨励金は1者（宿泊業）、都市型産業等育成補助金は2者（製造業、情報通信業）、新たに交付する事業者を認定しました。 また、現在造成中の三ヶ島工業団地周辺土地区画整理事業については、土地区画整理組合の業務代行者である株式会社フジタ及び協同組合設立準備会と適宜情報交換を行ったほか、随時現地を訪問し工事の進捗状況を確認しました。
3	商業・観光振興によるにぎわいの創出	本事業は、商店街をはじめとする地域商業の支援、及び国内外からの観光客の誘致等により、にぎわいの創出や活性化を図るものです。	商店街事業を支援し、ハード事業・ソフト事業の実施を促すとともに、市制施行75周年という節目をとらえ、関連イベントの開催等による市内内外の市のPRの強化や観光客の増加を図ります。	商店街が実施するハード事業9件、ソフト事業82件、街路灯電気料30件に補助金を交付し、商店街事業を支援しました。 また、関係団体とともに観光プロモーションを7回実施し、観光客の増加を図りました。加えて、所沢市制施行75周年×西武園ゆうえんち開園75周年を記念し、西武園ゆうえんちにおいて「所沢市民感謝デー」を開催しました。
4	農産物ブランド化及び環境にやさしい農業の推進	本事業は、都心に隣接する地域でありながら、環境に配慮した農業が実践される所沢の魅力を、世界農業遺産認定や万博出展等様々な機会を活用して発信し、農業の活性化と農産物の販路や消費の拡大を図るものです。	事業者等との連携を通じた所沢農産物の普及啓発活動を進めます。 また、環境再生型農業を目指し、消費者に対する当該農業に係る啓発、及び生産者による有機農業の小規模試行に取り組みます。	茶文化の魅力を世界に発信した大阪・関西万博への出展や、市内内外の飲食店とのコラボメニュー開発により、所沢産農作物のブランド化と地産地消を進めました。 都内でのマルシェ開催やSNS発信による消費者向けPRを行うと共に、市内農業者の参加を得て、環境再生型農業の講習と実践を展開しました。